

函館市議会議員 無所属 2 期目

荒木あけみ

後援会発行ニュースレター

函館市議会議員 荒木あけみニュースレター 第 24 号/2023 年 1 月/発行責任者 佐々木真実

1月 28 日(土)、29 日(日)、**荒木あけみと語る会**(最終ページをご覧ください)を開きます。お時間がございましたら、ぜひお出かけください！

2023 年、残りの任期も「提案」し、「結果」を求めていきます！

新しい年を迎えました。荒木あけみ、函館市議 2 期目の任期(今年の 5 月 1 日まで)があと約 3 ヶ月半となりました。2 期目のこの 4 年間のうち 3/4 はウイズコロナの状況で、2020 年当初新型コロナウイルスの影響がここまで続くとは想像していませんでした。軌道修正を余儀なくされた事業者の方、思い描いた学校生活を送れなかった方、治療中にご家族と会えなかった方、新型コロナによって経済活動、市民生活が大きく変わった市民の皆さまがいらっしゃいますが、今年こそコロナ禍を越えて落ち着いた生活になることを祈ります。そして、残された 3 ヶ月半、市民の声を届ける役目を果たしてまいります。

新年のご挨拶ができません。🙏

公職選挙法により、議員は年賀状、寒中見舞等の挨拶状が禁じられています。ただし、いただいた年賀状に自筆で答礼することは禁じられておりませんので、頂戴した方へ返信を送らせていただきます。

荒木あけみ応援のつどい

荒木あけみ後援会主催の「荒木あけみ応援のつどい」を昨年 10 月 22 日(土)に開催し、100 人を超えるかたにご参加いただきました。応援メッセージ、後援会長・副会長からご挨拶、荒木あけみから議員活動のご報告や今後への意気込みなど、あっという間の 1 時間でした。「批判より提案、思想から行動へ」。函館が活気ある街になるように、荒木あけみはこれからも走りつづけます。変わらぬご支援と叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。





① 8月に起きた水害と上下水道事業について

8月8日、函館市は観測史上1位の記録的な大雨発生。美原3丁目の函館地方気象台で1時間に64ミリ、高松町では81.5ミリと下水道の計画降雨量(1時間40ミリ)を上回った。排水が雨量に追いつかず、道路・歩道にたまった水の原因(=上下水道関連)と持続可能な水道事業について質問。

- ・マンホールから溢れた水は雨水か、汚水も混じっているか：降雨による雨水だが、一部地域(谷地頭電停付近、東郵便局付近)では污水管が満水になりマンホールや污水枘から下水が溢水した。
- ・排水能力の増強、今後の整備計画は：雨水管整備は浸水頻度や被害状況を勘案し緊急性の高い地域から実施。H29～R3年度は昭和町等で雨水管約2.5kmを整備。今後も被害地域ごとに浸水要因や被害状況を検証し効果的に浸水対策を進める。
- ・下水汚泥の利用状況、農業用肥料としての活用：下水汚泥は約80%がセメント原料、12%が肥料原料として利用。現在の仕組みでは下水汚泥の割合を増加するのは困難。企業局が独自で肥料を製造するのもコスト面や安定的販売先の確保の課題があり対応は難しい。
- ・温泉熱利用(発電、融雪、野菜栽培等)は：湯の川地区で94戸に温泉を供給しているが一部施設で熱交換器により給湯・暖房に利用。恵山地区でも民間事業者がイチゴ栽培に利用。企業局の供給ポンプ場から最も離れている供給先まで、冬季は約64℃の温泉温度が42℃前後まで低下する。温泉熱利用は更なる温度低下が懸念されるので温泉熱利用は難しい。

② 所有者不明土地の現状と今後について

日本各地の所有者不明の土地は九州の面積を超え、2040年には北海道の面積(国土の2割)に。6年前(H28)に初めて質問した後、どのように変化したか、固定資産税の税収はどうなったか、国の特措法が出たがその効果は、といった点を質問した。

- ・公示送達(※)の土地：宅地で約4万㎡、山林で約16万㎡、原野で約33万㎡。
- ・課税できない土地：宅地で約2.5万㎡、山林で約8万㎡、原野で約33万㎡。
6年前(前回質問)と比べて、課税できない土地(相続人の不存在)が増加。
- ・不納欠損(※)の推移：件数、金額ともに減少傾向(平成28年度4464件、1億6千万円→令和3年度2066件、4800万円)。

所有者不明土地に対するみなし課税や特措法等の対策はあるが、現実的ではないものも多い。令和6年度から相続登記の義務化が開始。所有者不明土地が増えないよう制度の周知に期待。

※公示送達とは：送った納税通知書が市役所に返送され、調査しても所在が分からないため、市の掲示板に一定期間公示することで書類が届いたものとみなす制度のこと。

※不納欠損：納税義務者の相続登記なし、時効(5年)を迎えた等、自治体はその徴収を諦めること。

③ 歴史や文化的視点からの漫画・アニメと函館の関わりについて

漫画『ゴールデンカムイ』について二度目の質問。昨年4月に完結した『ゴールデンカムイ』(以下、ゴルカム)は五稜郭が最終決戦地となった。全国各地でのゴルカム展はどこも混み合い、今夏函館でも開催される。函館を舞台にした大作で発生する波に乗るべきではと考えて質問した。

- ・ゴルカムの反響：五稜郭の兵糧庫は毎年8月限定公開だが、今年の入場者数は去年の2.4倍(1万7千人)。追加公開希望の声を受け、9月に一般公開を追加。反響の大きさを感じている。
- ・北方民族資料館へのゴルカムの反響：4～8月の来館者数は1万8千人と過去5年間で一番多い。来館者アンケートからもゴルカムを来館利用としてあげているものが多い。
- ・市の文化財と連携した関連企画に取り組んでは：漫画に描かれた文化財やアイヌ資料と漫画が連携した展示は非常に有益。キャラクター著作権の費用・制約もあるので先行事例を調査する。



① 予防医療、健診・検診率向上について

1) 特定健診:国民健康保険加入者(40~75才未満)を対象に特定健診を実施。受診率は、令和3年度で31%と国の目標60%と比べると低い。受診率向上の取組みが必要という観点で質問。

・特定健診の受診率向上の取組み:受診勧奨や周知啓発に取り組む以外に、AI分析を活用した受診勧奨や医療機関で受けた検査データを特定健診とみなす、みなし健診を実施。

・みなし健診を増やすための協力医療機関の拡大:R3年度の76医療機関に対し、現在は71医療機関。みなし健診の協力要請と対象者が多く通院する機関には個別に協力要請をしていく。

・国の目標値(60%)未達の市への影響と課題:受診率は国の保険者努力支援制度の評価指標の一つなので交付金の交付額に影響あり。課題は、40~59才の現役世代の受診率が低いこと、通院中を理由に受診しない方が多いこと、年度末に受診者が多いこと。

2)がん検診 日本人の2人に1人が罹患すると言われるガン。初期症状がないことが多く、検診を定期的に受けることで早期発見・治療が可能に。函館市の受診率は国・道内他市と比べて低い。PFS(Pay For Success=成果連動型民間委託契約方式)の導入を提案した。

・乳がん検診の受診者がデンスブレスト(高濃度乳腺)の場合の対応:マンモグラフィ検査だけでは発見しにくいいため、デンスブレストの特徴を説明し、超音波検査を勧めている(自己負担)。

・PFSを導入しては:PFSは行政課題の解決に対応した成果指標を設定し民間事業者へ委託、その成果に応じて支払う額が連動する制度。他都市の実施状況や導入効果等を調査研究する。

②西部地区再整備事業の進捗について

西部地区再整備事業は3つのプロジェクトがあり、その一つの「既存ストック活性化プロジェクト」はさらに3事業に分かれる。そのうち、街区整備の動きが見えないのでその進捗を確認。

・街区再整備、市とまちづくり会社の役割は:市=街区内の情報収集、土地所有者等の意向確認まで。まちづくり会社=事業化に向けた検討から土地所有者との交渉、事業実施まで。

・他の事業と比べて街区再整備は進みが遅いのでは:毎年2~3街区の所有者等と交渉、そのうち1~2街区の事業化が目標だったが、現地調査や交渉に時間がかかり具体の事業化には至っていない。検討する対象街区を拡大するなど早期の事業化に向けて取り組みを進める。

・早期の事業化を具体的にいうと:検討中の3街区以外の11街区を追加対象として調査・協議を前倒して実施。結果、実現性が高い街区の再整備に向けて土地所有者等と交渉を進める。

③ 広報・広聴について

9月にスタートした市の公式LINE。使われ方の把握と、今後の展開を質問。後半は、各部局実施のアンケート調査について。調査するなら事業の効果測定や仮説検証等への活用、市民への結果公表をしてほしい。令和元年~アンケートを実施した13部局への調査結果を元に質問を構築。

・利用者:登録は約1万8千人(11月末)。プレミアム付商品券の申込で6千件等オンライン申請も。

・LINE利用者へのアンケート結果は:手軽に情報が得られるなど好意的な意見の他、行政手続や申請の機能を追加してほしい、同じような情報の配信頻度が高い等、改善を求める意見もあった。

・LINEの拡充方向性:申請・予約の手続きやJアラート等緊急情報の自動配信を求める声が多かった。より市民生活に役立つサービスとなるよう機能拡充を検討していく。

・各部局で実施しているアンケートに共通ルールを設けるべきでは:アンケートの基本部分に一定のルールは必要と考える。職員向け広報広聴マニュアルで記載し周知することを検討する。

・効果的な広聴には職員の資質向上が必要では:毎年HPの作成等、主に広報活動の職員研修を実施しているが、今後は広聴活動の内容も含めた研修を実施して資質向上を図っていく。

荒木あけみと語る会

下記の通り、毎年恒例の語る会を開催いたします。是非ご参加ください！

荒木あけみと語る会

2日連続で行います。ご都合よろしい方にご参加ください！

日時：2023年1月28日(土) 10時半～11時半

会場：函館アリーナ会議室(湯川町 1-32-2)



日時：2023年1月29日(日) 10時半～11時半

会場：サン・リフレ函館(大森町 2-14)



両日とも、申込不要、参加無料、入退室自由。

荒木からの議員活動報告と参加者の皆様からご意見・ご質問等をお話いただき、ざっくばらんな会です。(冬場の会では、除雪や防災についてのご意見を伺うのが多い印象です)

個人寄付(カンパ)のお願い

荒木あけみは、政党や会派に属さない無所属の市議会議員であり、団体や企業の支援を受けずに自立した政治家として歩んでいくことを信条としています。その活動は自己資金と個人寄附(カンパ)によって支えられています。お金のかかる政治はしない、これは荒木あけみの基本姿勢ですが、政策・活動を広く伝えるには、広報資料・印刷物の作成管理、郵便経費等が発生するのが現状です。ご無理のない範囲で個人寄附をいただけますと幸いです。



振込先 【名義】 未来へつなぐ荒木あけみネット (ミライツナグ アラキアケミネット)

●ゆうちょから 【ゆうちょ 記号】 19430 【番号】 8896651

●他金融機関から 【ゆうちょ銀行 店名】 九四八 (キューヨンハチ) 【店番】 948 普通預金 【口座番号】 0889665

●金額：1口500円より何口でも結構です

未来へつなぐ荒木あけみネット (荒木あけみ後援会)

所在地：〒040-0035 函館市松風町 17-10

FAX：0138-76-3321

E-mail：info@arakiakemi.jp

Instagram araki.akemi



facebook
未来へつなぐ荒木あけみネット



twitter
荒木あけみ【函館市議会議員】



荒木あけみ公式ホームページ
<https://www.arakiakemi.jp/>

